

# 博物館研究紀要の編集と発行

バックナンバー >> No19-No10 >> No9-No1  
英文誌 : Nature and Human Activities (~2007)

研究紀要「人と自然 Humans and Nature」は、人と自然の博物館で発行する磁気出版の学術誌です。人と自然に関わる広い分野の専門家はもちろん、教員や企業の研究者、NGO や NPO など長く活動を続けている市民の皆さんの原稿を集めて、年に1回、編集・発行をしています。全ての原稿には「査読」と呼ばれる博物館内外の専門家によるチェックがあり、内容の信頼性を確保しています。和

文と共に英文の投稿も求め、自然・社会・人文に関して、兵庫県のみならず広く話題を求め、市民のための新しい学術誌を目指しています。

<http://www.hitohaku.jp/publication/r-bulletin.html>  
をご覧ください。



## 人と自然 No.25 2014.12.発行

原著論文/Original Articles	
マレシア地域のアブラハイゴケ属（蘚類コモチイトゴケ科）：タイプ標本の図示、分類学的ノートならびに種への検索表（英文）	Monica SULEIMAN・秋山弘之
生涯学習施設の館内放送はどうあるべきか：聴覚実験による肉声と人工合成音声の聞きやすさの比較	三谷雅純
竹筒トラップの形式が管住性ハチ類のサンプリングに与える影響	橋本佳明・遠藤知二
加古川水系の一湿地に生息する絶滅危惧種ホトケドジョウの成長と寿命の観察例	青山 茂・田端友博・土井敏男・赤田仁典
報告/Reports	
六甲山地における溪畔林構成種サワグルミの個体群および群落の現状	栃本大介
芦屋市の街区公園におけるアリ類	増井啓治
カンムリオオタカ (Accipiter trivirgatus) によるジャワルトン (Trachypithecus auratus mauritius) 幼獣の襲撃事例（英文）	辻 大和・樋口 広芳・Bambang SURYOBROTO
小学校6年生理科「大地のつくり」における恐竜化石の活用と地質フィールドワークの効果 --大地の営みがもたらす恩恵と災いを伝える試み--	岸本清明・神田英昭・佐藤裕司

## Publications

### ● Research Publications

#### \* Humans and Nature

This journal is devoted to enhancement of discussion and dissemination of fundamental knowledge on science itself and human-science interactions. It was founded in 1992, and has been published annually since then. Each issue contains original research articles, reports, short notes, and/or reviews written in English or in Japanese.

Another scientific periodical of ours, entitled "Nature and Human Activities", founded in 1996 as an entirely English series, was ceased after publication of No. 12 in 2007. English manuscripts formerly handled for this series have been considered for "Humans and Nature" since then.



博物館研究紀要「人と自然 Humans and Nature」の編集・発行

代表者：研究紀要編集委員長（現在は三谷雅純）

分担者：研究紀要編集委員

財源：県費